

伯利西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi
Assignaturas
Bot Anho 10\$000
Semestre 5\$500
Mez 1\$500
Semana \$800

獨立共尊

福澤先生は晩年獨立自尊の說を唱へ、之を遺物として此の世を去られた。獨立は海に結核な事である。人は生れて立つことを覺へ、長ずるに及んで一廉の能力を備ふるに於ては、獨立して他人の厄介にならざることは當然であるが、自尊は餘り哀めたことではないと思ふ。

人は自から自を尊ぶの要は勿論ないが、さりとて故ら自らを尊ぶべき云ふことは考へるものである。已れ自らを尊ぶとするは、他を卑しむと云ふことに解せらるゝので、動もすれば傲慢に陥る恐れがある。故に私は、人各々獨立を尊ぶと云ふのである。即ち福澤先生の言へる獨立自尊にあらすして、獨立共尊で世渡りをして行きたいのである。尚ほ言葉を変へて言へば、已れの正道とする所は、何處までも突進すると同時に、已れの職分とする所は、他を卑しむる所を以て自他共尊で終始一貫して行きたいのである。

所が我が同胞の中には、義務を出来る丈選んで、權利のみを極端に主張しようとする者がある。是は所謂弊に陥つた自尊で、一名我儘勝手と云ふべきものである。是まで屢々本紙上に述べたるが如く、世の中は總て共同であり、共存である。若し夫れ之を無視する者あらんか、國家ならば其處に戦争が起り紛争が生じ、個人ならば其處に争論が起り反目が出来るのである。

一般鑑遠からず北米の天地を見よ、日本人が個人主義だと嗤笑つて居るが、何ぞ知らん、日本人は何時かの間に、其れ以上の我儘勝手を行つて平然たる有様である。是では日人排斥を行はれても、一言辨解する辭がないではないか。近頃聞く處に依れば、北米加州に於ては、勞力缺乏の爲め東洋人を移入するの企てがある。所が農業にも勞働にも世界一だと自惚れる、日本人を差し置いて、支那人を入れたら、勿論之には種々な事情もあるが、先づ日本人を誤解して居るのが、日本人を嫌ふ重なる原因である。

戰時のこと、時に常規を超越し、神變不可思議なることあるけれども、其の要素は一つとして平時に養成温習されたものでないものはない。殊に鳥居の同志に對して行つたことは、何れも突飛なことでもなければ、不可思議なことでもない。平時共同生活を行つて居る者ならば何人でも出来ることである。

私は祖先に斯の如き人を有し、斯の如き思想の流れを酌んで居るのだから、互に能く修養し訓練して、白人の見て以て日本人に欠けて居ると云ふ社會生活を實現せねばならぬのである。而して之を爲すには、獨立自尊ではないか、獨立共尊でなくばならぬ。私共にして常に其の心を持つて、互に自他の長短を補ふに於ては、必ずや圓滿なる社會を現出することが出来るのである。

歐洲大戰は何時如に終結する乎(上)
法學博士 鶴川 新
戦争は何時迄続くか云ふ問題の解答は、實は甚だ分り兼ねるのである。若し獨立の軍隊が、其の海軍の損害より計算して、何年間で盡きるか云ふ事が明確に分るとなると、戦争の終期は自然明白になるのである。戰時開始の當時の如くに甚しからず、向つて援兵の望なしと報告せば、汝を動かさず、若し然らずんば立ごころに其の頭を刎ねんと云つた、鳥居は之を諾し、敵兵に伴はれて城外に到り、大言を張り上げ、城内の同志怒り、大兵の來り救ふこと久しからず」と叫んで、其の首を敵兵に授けたのである。是れ共同生活の極致ではないか。

多數の兵を増して居るであらうが故に、一寸兵數の減少と云ふ點からは戦争の終結を豫想する事が出来なくなつて来た。又獨立の糧食缺乏とか、英國の糧食缺乏と云ふ事も、缺乏には相違なきも、人民の食物不足にして巴里に降参すると云ふ様な一八七一年の日の豫測する事が出来なくなつて来た。昨年二月以來極力荒れ出した獨逸の潛航艇も唯だ悲慘の名を殘すのみにて、英佛の船を悉く撃沈すか、英佛人を悉く餓死せしむるか云ふ事は、全く望む可からざる事となつた。英佛の船が悉く破壊せられ海上の供給を自由にする事となるであらう。夫れ故に糧食問題では、戦局が餘りに廣い所から、結末は附かぬと云ふのが正しい議論であらうと信せられる。

從來交戦國の間に平和の周旋を爲す者は、米國と羅馬法皇とであつたが、米國は英國に參加して最早平和の周旋人ではない、大いに戰ふ可き地位に居る國である。最も有望の羅馬法皇の説をも排斥して、武裝に汲々たる情態である。而して羅馬法皇の平和斡旋の聲の如きは、講和を欲する獨逸人よりは歓迎せられたも、其の他の國民からは、一笑に附せられ、何等の反響をも及ぼさぬ有様である。小國民又は法皇の平和の周旋などは、最早日英佛米と云ふ大國からは、受取られざる時代となつたのであるから、此點から講和成立の事は最早望はない。又若し日英佛米の無数の飛行機を襲つたなら或は獨逸人は講和を乞ふに至るかと思はる、此事今日に於ては英佛に於ても大いに決心したものが、如くに見ゆるし又米國の或る將軍は、連盟軍は向後空中を支配せざる可らずと云つた事があるから、若し米國の如くに一擧して一萬臺の飛行機を作り、大舉して獨逸を襲はゞ其の効果は必ず大なるものある可しと思はる、けれども、之れも急の事にあらざる可し。又若し連盟軍にして、大いに獨逸の國家將士に危きに至らば戦争は總てあらう、乍併敵の兵力は多く、其の準備は成り、容易には大敗と云ふ事にはならぬのである。勿論東部戰場では、露軍は最早勝利の望なく、事は西部のみあるのであるが、若し西部の大軍にして、白耳義を恢復し、獨逸の手よりアントウワルを奪ひ、又ローレンス全州を獨逸の手より奪つたならば、英佛米は獨逸の再び大國大海國たり能はざる事に安心し、獨逸も最早戦争継続の何等の望なきを解し講和と云ふ事になるであらうと思はる、ローレンスを獨逸より奪へば、獨逸は鐵に窮するるのである。獨逸にして鐵に窮するに至らば、所謂其の軍國主義も大打撃を受け、戰時にも平時にも、英佛は獨逸を恐るゝ要なきに至るのである。之れと同時に白耳義の大炭礦と良商港とを獨逸の手より奪へば、獨逸は其の未來の大望を懐く事能はぬ様になるのである。其の全植民地を失ひ又佛國を征服する事能はざりし獨逸の今日唯一の望は、白耳義を自國の保護の下に置き、戰時平時に英を脅かし、佛領ローレンスを併せて其の五十年にて盡きんとする自國の鐵を補ひ、之れを以て軍國として又工業國として、存在せんとするにあるが故に、若し此の目的を挫かれるば、講和するより他なきに至り、佛英米も斯くなれば、必ず獨逸の乞を容るゝであらう、故に戦争の終局は此の結果の來る日に在ると云ふ位は此の結果の來る日に在ると云ふ位の所が、餘り甚だしき臆断ではないであらうと思はる、其の日の何日かを以て到達するかは、味方軍の勝利斷は出來難いのである。乍併今日に於て英佛軍の勝ちつゝある時であるから一方は士氣益々昂り他方は士氣益々衰へ、着々味方の勝となつて行く事は確かであらう、茲に一つ問題がある。

洋上夕陽の賦
敬天牧童
天た高く水ひろき
大西洋の南をす
わが汽船 颯に比べんか
無邊際なる青色の
玻璃穹窿もて彌覆したる
無限大、瑠璃盤上の。
若碧二色つらなりて
愛の握手をなすところ
戀の接吻かはす邊
西方水天の境界より
一短竿の空合に
懸鼓目曇たるを見る。
威光莊嚴の大日輪
勇將凱旋の意氣姿勢
衛兵の雲群率の連れ
行列いと厳かに
遠く穹窿歩して
今近づけり、その際涯に。
行列先驅の一部隊
行路つかへて進みかね
しばし夕陽の影蔽へば
白雲忽ち大紅蓮
其背後より筋線立ちて
紫金の殿色射放てり。
四射八散の大光明
上は虚空の高所にあふれ
下は海水の紺碧に映じ
雲群千差萬別の彩色は
さながら衆寶間錯し
ひかりを競ふ如くなり。
障障燦爛の大圓光
遮ざる雲を拂ひ除け
再度出現す水の際
七寶色の錦上に
徑一尺の大紅玉
打散せたらんに譬ふべし。
あ、此の無價の大寶石
「時間」の荒砥にかけられて
下方より一分また一寸
全圓やがて半圓に
半圓見るく弧と變じ
研ぎつくされて没したんぬ。
没したんぬ、あはれ夕陽!!
素然自若英雄の
馬上に就を横たへて
敵陣さして入る如く
金泥盈滿の大海に

未練もあらず、にこやかに。
日將去つて威なき衰へず
除光暫く耀きて
名残の西方の天空
護衛の雲群は褪せながら
近きは淡紅また淡紫
遠きは靑 藍の色。
彩雲首うなだれて
程なく着たる喪の服
故主のために哀しめば
異種金色の天空かすみ
海水また黒くなり初めて
四邊朦朧夜氣せまる。
今者「文明」の日輪は
「平和」の穹窿すべり墜ち
歐洲兵亂の怒濤狂瀾裏に沈淪す
さはいへ太陽は没すれども滅せず
明朝再び旭日となりて
東天に大威光を耀かすべし。
の如く人鬼暴戾の夜明け
武力萬能の迷夢さめんとし
「文明」再び「平和」の青天
光明顯赫全世界を
普照せん
見よ、黄昏の天空はるかに
希望の明星きらめくを。
大正六年三月三日伯國に赴任の途次
「英艦」デニス號にて

な垂れて、感心に地を見れば靴のほこりの眼にいらし。
こゝろ靴の跟を鳴らす時ふと戀しくなりし君かな。
見るとなまじく入る白き法が靴の心置かれて飽かすも見る。
戀しきかな
新 石
印度洋の大波の如き一とまた一とゆるぎ備やましや戀
悲しけれとれし涙甘き涙死のばかりなる
云へど、盡きせぬ味き真清水のある、如く胸にみなる。
胸の火のゆるがまに物性を焼つくす迄戀なやむかな。
戀いたく。
戀いたく。
過ぎし日
みすゞ
月明のキャンは響し其の果てに鹿の群れの過ぎ行くを見る。
打ち響くヤン樹の林地よ夕陽の木の間に鹿の流れる重く波響き、パラカイの夜の音すし。

未練もあらず、にこやかに。
日將去つて威なき衰へず
除光暫く耀きて
名残の西方の天空
護衛の雲群は褪せながら
近きは淡紅また淡紫
遠きは靑 藍の色。
彩雲首うなだれて
程なく着たる喪の服
故主のために哀しめば
異種金色の天空かすみ
海水また黒くなり初めて
四邊朦朧夜氣せまる。
今者「文明」の日輪は
「平和」の穹窿すべり墜ち
歐洲兵亂の怒濤狂瀾裏に沈淪す
さはいへ太陽は没すれども滅せず
明朝再び旭日となりて
東天に大威光を耀かすべし。
の如く人鬼暴戾の夜明け
武力萬能の迷夢さめんとし
「文明」再び「平和」の青天
光明顯赫全世界を
普照せん
見よ、黄昏の天空はるかに
希望の明星きらめくを。
大正六年三月三日伯國に赴任の途次
「英艦」デニス號にて

衛生講話

醫師 高岡專太郎述

ビンガの話
ビンガは伯國在住の日本人に盛に飲用されてゐる酒類で、日本なら正...

ビンガの成分
一、アルコール 六六―七二
二、水 三〇
三、フーゼル油 不定
四、糖類 三
五、遊離酸エチルエステル微量

アルコールが血管を刺戟して擴張し血液が多量に外に流れて来るからである...

他のアルコールの身體に及ぼす作用としては、心臓の受ける影響、アルコールは直接心臓の中に入れて刺戟する為め...

日本酒古酒 一三―一四
泡盛 四〇
焼酎 五〇
ウヰスキー 五〇―六〇
ビンガ 六六―七二
醫用酒精單にアルコールと稱へられてゐる物 七五

顔が赤くなり身體がはてつて来るのは...

機械の音を聞きつゝ、(三)
身分不相應
翁 長助 成

見のがされぬフーゼル油
日本の新酒を飲んで頭に上るといふのはフーゼル油を含んでゐる為め...

私には日本人の健康上ビンガの存在する事を悲しむものである、といふ事は禁酒論者でも無い、節酒論者でも無い、強て名ければ機会酒論者...

社告
是まで屢々申上候如く目下郵便物の取締嚴重、殊に手紙の検閲に日を要し、不幸開封検閲龍に入りたる分は發信の日より到着まで一ヶ月以上の日付を費すこと珍らしからず候、現に一昨日配達を受けたる二十二通の開封検閲済の手紙は發信日附十二月五日より十八日迄の分に有之候...

美利具比植民地
安 潮 生
滋潤一度ある毎に作物は見違へる様に成長發育する、眞に雨は作物に對する空腹の飯の價がある、當地は今や作物の發育盛り、稻、黍、豆が互に争ふて茂り行く其の狀實に爽快の感がある。

伯刺西爾拓殖會社
「イグアへ」植民地
●當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技師、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖上必要な組織を有す

●當植民地は道路四通八達交通自在なり
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負勞働に従事すことを得

●當植民地には資力乏しき者にも自作農業爲し得る方法あり
●汽車のサントス港發は毎週月曜水曜の兩度午前九時二十分發にして同列車のジュキア着は同日午後四時なり此の間の二等汽車賃は金十ミル百レイス

●視察に最も便利なる「イグアへ」植民地

伯刺西爾拓殖會社
「イグアへ」植民地

Director-gerente Dr. James Mellor
Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo.
Linha NOROESTE.
Briguy.

伯刺西爾拓殖會社
「イグアへ」植民地

伯刺西爾拓殖會社
「イグアへ」植民地

伯刺西爾拓殖會社
「イグアへ」植民地

●日本近信

●樹間に洩る紅葉の曲

在京の舊公卿連大宮御所にて雅樂を奏し奉る皇太后陛下御幸邸跡を訪れ給ふ

十一月十三日午後大森皇太后陛下は、皇太后陛下を京都御所へ奉送して皇宮に歸り皇太后陛下に伏奏し奉れば陛下に

は、いと軽げなる御洋装を召し大森大夫の御先導により御車寄より

▲御徒歩にて秋の光に輝ける白砂を踏み給ひつゝ、建春門より御出門遊

ばさる此時に御苑の九門は固く閉固せられて衆庶の交通を杜絶しあれ

ば廣やかなる御苑内もたゞ衛士の影を所々に散見するのみ、陛下には大

森大夫、日野西主殿寮出張所長等の御説明を聴し召されつゝ、先づ桂宮の

巽に當る明治天皇御産湯の▲祐の井を御覽せさせ給ひられ

り木立ものふりたる桂宮、近衛、一條等諸家の邸址さては古歌に名高き

縣井より車返しの櫻英照皇太后御遺愛の紅梅などを御覽して昔をしのび

給ひつゝ、更に林泉舊觀を改めざる御生家舊九條邸址を訪れ給ひ高倉橋

の上より池塘に依れる▲拾翠亭などを御眺めありて御想

出いごゝ深かる様拜し奉らせぬ、やがて陛下には侍臣のうながすに

に畫荷暗きばかりに木立の古りたる仙洞御所内に入らせられたるが其の

一角には漫緑を繞らし青竹に笠を吊し裏千家は野點を台覽に供し奉らせ

●南海電車大衝突

南海電車の猛烈なる突撃突入は真に稀有の惨事

十一月十四日午前九時二十六分南海鐵道沿線淡輪、深日間に難波發下

の第七十三號電車(運轉手大塚英三郎、車掌小松峰一)及び和歌山發

の第七十八號電車(運轉手堀内上り、車掌南清一)が大衝突をな

した結果、右和歌山發の電車は第二一號及び百五十四號の連結

車、また難波發電車は百五十二號の連結車にて何れも郵便物、特等車

の普通車順位にて構成さる、同所の線路は單線なるに拘らず別項記載の

如き大過失に基き遂に一大衝突をなし急速度を以て疾驅し來る上り電

車は下り電車の車體内に突入し恰も肉刺を交したるが如き有様となり

運轉手兩人は附近の水田中に飛ばされ重傷を負ひ又パイロットマン兩人

も同く跳ね飛ばされ電柱にて頭蓋骨を碎きて無残の即死を遂げ同時

に乗客は全く玩具箱を地上に投げ付けたるが如く別項記載の如く即死四

名、入院後死者一名、手當を受けし負傷者六十九名を出したるが衝突の

勢ひ猛烈なりしたる兩車合せて百五十名の乗客中全く無事なりしは僅に

二三名に過ぎず▼車掌が驛長、淡輪驛と深日驛との兩驛長を兼務せる小泉伊太郎は十四

日は朝來淡輪遊園内の自宅にありて當面の執務者は驛長代理の助役なる

●奥田男の借金

奥田男の借金を返済した十七萬圓

故男爵奥田義人氏の死後其財産を整理するに及んで遺族親戚知己達の先

づ度借金を披かしたるは生前の借金總額十七萬六千餘圓の巨額に上つて居

た事は是れはと許り一同額を鳩め借財の根本詮議を始めることれば

悉く男爵の借金を備へた背景となつて居る事が判り同時に隠れたる私事の爲

には一文も費消せず其大半は東京市長就任以來或は社交の爲に或は部下

を賑す爲に消盡した事實が判明し市長の名市長たる所以が別つたれば

は更に對しては伊東も整理を要すべし借金に對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

し借金の對しては伊東も整理を要すべし借金の對しては伊東も整理を要すべ

●榎事の原因

榎事の原因

恰も衝突前の一列車が通過したる後單線式のタブレット信號を深日驛に

與へんとせしに武宮はタブレットの信號法を十分に知らず着報の手續を

誤りたるを以て深日驛はタブレットの機械装置に故障を生じたるものと

早合點したタブレット信號に更ふに指導式の方法即ち雙方の驛間に一人

の指導者を設け上り下りとも一人に往復し故障を防ぐ方法を以て運輸

を開始せんとし深日驛の驛長代理藤田祥隆は電話を以て「指導者付きで

發車する」と通知したるに武宮は之を「指導者付きにて出せ」と誤解し

折柄淡輪驛構内に入車し居たる下り列車に指導者として驛夫石橋義男を

乗込せしめ發車したるが此の時既に深日驛にては「出す」の通知により上

り電車に指導者として驛夫伊藤淳を乗込せしめ發車したる後なりしかば

最早如何ともすべからず斯く聞く最長は始めて自宅より出勤し大騒

ぎを演じたり▼衝突に任ず 衝突の現場は淡輪驛を去る七十鎮の南方にして泉南郡淡

輪村字三ツの山麓なり同所は恰もS字形カーブの中央に當り上り、下

り兩方共山形より出づる所なるも尙直線あり電柱のスパン八本長き二

百間餘あり運轉手にして應急處置の方法を十分に知りたるらには損害を

●榎事の原因

榎事の原因

恰も衝突前の一列車が通過したる後單線式のタブレット信號を深日驛に

與へんとせしに武宮はタブレットの信號法を十分に知らず着報の手續を

誤りたるを以て深日驛はタブレットの機械装置に故障を生じたるものと

早合點したタブレット信號に更ふに指導式の方法即ち雙方の驛間に一人

の指導者を設け上り下りとも一人に往復し故障を防ぐ方法を以て運輸

を開始せんとし深日驛の驛長代理藤田祥隆は電話を以て「指導者付きで

發車する」と通知したるに武宮は之を「指導者付きにて出せ」と誤解し

折柄淡輪驛構内に入車し居たる下り列車に指導者として驛夫石橋義男を

乗込せしめ發車したるが此の時既に深日驛にては「出す」の通知により上

り電車に指導者として驛夫伊藤淳を乗込せしめ發車したる後なりしかば

最早如何ともすべからず斯く聞く最長は始めて自宅より出勤し大騒

ぎを演じたり▼衝突に任ず 衝突の現場は淡輪驛を去る七十鎮の南方にして泉南郡淡

輪村字三ツの山麓なり同所は恰もS字形カーブの中央に當り上り、下

り兩方共山形より出づる所なるも尙直線あり電柱のスパン八本長き二

百間餘あり運轉手にして應急處置の方法を十分に知りたるらには損害を

第七課 (Lição Setima)

- 1. O vegetal lança raízes na terra de que se sustenta. 植物は土中に根を出し升。うして其土から養ひを取て居り升
2. Depois aparecem outros, gomos, que se cobrem de flores. Estas flores produzem os fructos dentro dos fructos. 此等の花は果實を生じ其果實の中で種子が熟します。
3. Esta semente, metida na terra, germinará e produzirá. 此の種子は土中に入れて始めのものに總て似て居る別の植物を發芽し育成します。
4. Terras, pedras e metaes são as principaes mineraes. 土、石、並に金屬は主なる礦物であります

B. São excellentes. 大變結構です。
A. Vamos tomar o café. 珈琲を飲みませう。
prato raso 浅い皿
prato fundo スツプの深皿
sopceira ソツプ入れ
tijela 御膳茶碗
escumadera 網シヤクシ
concha シヤクシ(汁用)
taça シャンペン用のコツブ
註 第十一頁 Vá almoçar の Vá は貴方行きなさいと誘引的に命令する語なれど此處にては行くの意味を失ひて次に來る動詞と結びて何々しない意となる本文の場合は朝飯を食なさいの意なり、但し單に almoce と言ふも可なれど Vá almoçar の方穩かな言ひ方である。
que é porque (何故なれば) の意味に用ひらる。 dia de annos 誕生日 anniversario natalicio と同じ。 Hoje é dia dos seus annos 今日貴方の誕生日です。伯國語にて有難たうと言ふときは男子の場合は obrigado 又は agradecido 女子が言ふ場合は obrigada 又は agradeceida である。
Acceito 私を受くる。承諾す。 話相手若くは彼が受く。又は承諾す acceita. prazer 愉快。喜び。 almoçaremos 私共朝食ませう。
第二頁 gente は人々の意にして大勢の人は muita gente である。 gente de fóra の反對 gente da casa。 人に呼ばれてハイと返事する時ブラジル語では sim, senhor, 又は prompto と言ふ。此の prompto は estou prompto 私は用意が出来て居る。 Tudo (總て) は todo(總て) の) と異なれば注意す可し。 faça servir 御取りなさいの意に用ひたれど場合により給仕せよの意あり。 sinto は元來私は感じますなれど此如き場合は何々の爲めに氣の毒に思ふと言ふ事である。 然れども sinto dor de cabeça 頭痛がします。 sente frio? 貴方は寒くありませんか。 a seu gosto, a sua vontade 何れも(貴方の御勝手に)である。 ao contrario 此れに反して。 何々を食なさいは sirva-se de である。 第十三頁 some 消ゆ。 妻をかくすの意 sumir の變化せる語。 ponha の代りに deite を用ふるも宜い。 molho japonéz 醬油。 pesado 消化の難きなれど元來は重きと言ふ語。 sobe 上る。 乗る。 subo 私がかかる。

三人旅

(十一)

南鳩生

「桂植地」は、日本政界の偉人... 桂一帯の地勢は、之を前面より眺むれば、大陸的に非ずして寧ろ日本の...



兎吉のちゑ

兎吉のちゑ... 兎吉は夕方になると村の外へ出て、...

何れかでありませぬ。
Os cavallos, os bois, os porcos e etc. são os animais domésticos.
Ha, porem, outros animais...

註 lançaはcria(生やす)とするも同じ。sustenta保つ。支ふ。食ふてゆく。の意...

會話

- 正誤 第十一頁 eu sou que bate は eu sou que bato. 第十二頁 supliendo は esplendido の誤植
A. O senhor não come nada. Quer o peixe frito? Está bem temperado.
B. Muito bom, e tão macio que some na bocca, não é verdade?
A. Ponha-lhe molho, que fica mais gostoso,
B. Me passe o feijão, faça favor.
A. Passamos á sobremeza. Temos laranjas, bananas, mangas e morangos.

●各國電報

●佛國前首相の逮捕

ルクスブルグ侯の共謀者... 佛國前首相ジョセフ、カーロー氏は...

●亞國麥粉輸入

亞國外務大臣より駐伯公使に電報を以て本年内に伯國に對し小麥四萬五千噸...

●浦鹽情勢

昨十七日東京通信に據るに浦鹽電報の傳ふる所に依れば帝國海軍軍令部は同港と他所との通信を斷絶...

●駐米日本大使更迭

十二日、駐米日本大使更迭され、新大使として...

●ブラジル輸出概況

今次の大戦に於て歐洲交戦國の經濟情態は實に混亂其の極に達してゐるが、一方他の諸外國に在つては大に警戒且つ努力した結果之を調節してゐる様である。

●青柳、松田兩氏の歸朝を送る

伯刺刺爾と云へば西南半球の一部に於て今より五百年程前に發見された大陸なり、氣候の好良、地味の肥沃、人口の稀薄は眞に世界の大植民地と爲るに足るに如く打ち捨て...

●バナマ丸入港

大阪商船會社臨時船バナマ丸は来る二十三日サンクトスに入港の筈。

●小川農務省技師來聖

去る十五日來聖された農務省技師小川清一氏は今回産業調査局の屬託に依り西半球に於ける農業並に鐘類研究の爲め日本を發し米國に渡り始め太平洋岸一帯を視察して、ニエオレアンスに出で海老の鐘類所を見、更に紐育に至り會來米の島淺太郎、室七郎の兩氏と兩に英領ニユアウンドライド及びオタワの漁業場を視察し終つて後來伯に於ける由なるが當國の魚類研究濟み次第亞爾然丁に渡り、アンデスを越へ再び太平洋に出で、歸朝せらるゝこと。

●の玉葱

聯邦植民局長は近頃リオ農務大臣レトリマ氏の許へモンソン植民地産の玉葱一束を寄贈して之が賞瓶を乞ひたる由なるが其の玉葱は實に見事なるものにて右は同植民地在住日本人の栽培に係るものなりとのこと。

●モンソン植民地

佐藤初太郎氏、久しくパウリスタ線サンタ、ユウドシア驛ポアピスタ米作地に在りて米の種子に關し餘中なりし同氏は試作研究の結果今般十七種に餘る種子を得て農務省に其報告をもちし更に疑問の點調査の爲め出聖せられしが當局より多大の賛許を得過日歸朝する。

●廣 告

小生久し振に第五回自來伯の機會を得て諸君の秩序ある進境を拜見致し欣喜雀躍に不堪暫く滞在の上快談交へ度樂みに致居候處東京より急電に接し來る二十六日リオ港發ボーンパンにて北米經由歸朝すること相成候爲め乍遺憾に御別れ候に止むなきに至り申候されど來候其節拜眉を得べく候先は取急ぎ以紙上御挨拶まで如此に候 敬具 一月十八日 松田順平

●賀正

△トウミ(唐)賣出し 其他製造 職工(多年經驗)募集 自宅労働の便もあり委細當店に問われたし

●カーザ東京

本店 聖市バロンデ、イタベチニ ラダニ、サンタ、エフイジ エニヤ、二九 三〇三六、セントラル 一九六三、シゲイ、デ 一〇〇五 CASA TOKIO R. B. Tapshing, 20 Tel. 3036-Central, 1963-Cidade

●穀物仲買廣告

但しノロカバナ線及 ノロエステ線に限る 一、粉 二〇〇俵以上 一、伯豆 二〇〇俵以上 一、棉 五〇〇俵以上 一、唐黍 五〇〇俵以上 一、御通知次第參上可仕候 一、賣價と期限御約定まり候上は 空袋は直ちに御地驛宛送附仕る 可候 一、代價は現物御地驛當着次第引換 に全部支拂申上可仕候 大正七年正月五日 S. YAMAGUCHI Nucleo Colonial, Montegoa Estrada Capitanat, Ceará Imlha, Sorocabana 山口三之助

●竹印醬油

美味 芳香 一瓶一軒五百レリス 聖市モツカ街五二六番 大澤商店 竹細工部、醬油醸造部 本商會へも本店同様御愛顧願上候 R. da Nooca 526, S. Paulo

●生徒募集

△葡語研究希望の士は來つて 學へ一週三時間 尚詳細は本校に御問合せあれ 正則葡語學校 校主加藤順之介 聖市コンデ街八十七番

●御料理の味別

西の味別 料理 用海製 馬ル西用醬油醸造元 一手販賣 遠藤常八郎 Rua Conde de Sarzedas 65

●純米國式

最新流行形各種 春廣一組金七十針より 百四十針迄 コンデサルゼ、ダス街 四十六番

●矢部洋服店

電話四五九セントラル R. Conde de Sarzedas 45, S. Paulo Tel. 4559 Central

●貸自動車業

業務懇切丁寧 一時間 拾針 日本人諸君には特に二割引 同胞諸君の御愛顧を乞ふ 自動車番號 二〇八 電話 シデーデ 七七 トラサダ、レブ、ア、リカ 中村末熊

●GARAGE AUTO PARIZ

Tel. cidade 77, Auto luxo, hora 10\$

●Alfaiataria YABE

Systema Americana Um terno sobre medida, de 70\$ a 140\$

●聖市物價表(十八日)

Table with multiple columns listing various goods and their prices in São Paulo.

●爲 換

Table showing exchange rates for various currencies.

●西原清東

今般左記の場所へ轉居 Rua Alameda Cleveland 25, S. PAULO.

●畫工備ひたし

ガラス及陶器類への畫工備ひたし R. do Simeon 32 (Sobrado) S. Paulo

●珈琲園コロノ及び

カンナ受負者募集 本耕地現在の珈琲樹數は新樹拾六萬本古樹四萬本にして猶大正七年度より新樹の植付けを始め以て此を更に提供し抑も本耕地所有地の内一千有餘アルケルは是なる森林で漸次に之を切り開きカンナ及びミリオの受負希望者にも提供し得ます植民地に入居る前に先づ豊富な資力を充たす事が今日吾々の急務であります本耕地には養豚業及砂糖及ビンガ製造所がありますのでカンナ及びミリオは幾らでも買ひあげます Magio Diniz Junqueira, Fazenda Peruvia, Estação Orlandia, Imlha Mogiana (R. Itapavim) Estado de S. Paulo 右 福川爲然 御問合せは拙者或は本耕地日本人に知人あらばその人に委し申し越し下されたし

●大澤商店

本商會へも本店同様御愛顧願上候 R. da Nooca 526, S. Paulo

●正則葡語學校

△葡語研究希望の士は來つて 學へ一週三時間 尚詳細は本校に御問合せあれ 正則葡語學校 校主加藤順之介 聖市コンデ街八十七番

